

アオサギ観察会

アオサギは今の時期、何をしているのでしょうか？

3月中旬……渡りの時期です。この時期には求愛行動がよく見られます。ストレッチ体操のような格好はほとんどつがいへのディスプレイです。そして、盛んに巣材運び。

3月下旬から連休頃まで……抱卵期。卵は25、6日で孵ります。卵を温めている間も片方の親は相変わらず巣材を運びます。卵は両方の親が抱きますが、どちらかという雌の仕事のようです。巣作りのほうは共同作業。雄が運んできた巣材で雌が巣をつくっているようです。

5月……育雛前期。ヒナはまだ小さく親がつきっきりで世話します。ヒナがごく小さなうちは親は半ば消化された餌を与えます。この頃はヒナもまだ行儀よく餌を食べているのですが…。



6月……育雛後期。親は巣を離れ、餌を与える時だけ戻ってきます。親が戻ってくると、ヒナ同士で凄まじい餌争奪戦が繰り広げられます。枝づたいに歩けるようになったヒナが、隣の巣から餌を略奪してくることもあります。

7月前半……巣立ち期。ヒナは巣立った後もしばらくはコロニー周辺に留まります。コロニーの近くの草原や河川敷に、幼鳥ばかりの集団が見られるのもこの頃です。そんな中に1、2羽成鳥が混じっていたりして、まるで幼稚園のようでもあります。

☆今年は春が来るのが早かったので、アオサギの繁殖も早く進んでいるようです。早く産まれた卵だと先月20日過ぎにはヒナが孵っているはずですが。今は生後1週目くらいではないでしょうか。

この写真のヒナは3、4週目頃です。
平岡のヒナも今月中旬にはこのくらいの大きさになっているかもしれませんね。



Mick Marquiss "Herons"